



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.6860	3.6950	3.7330	3.7050	3.6420	-0.0630
	BRL/JPY	Spot	30.61	30.43	30.06	30.34	30.72	+0.38
	EUR/USD	Spot	1.1465	1.1472	1.1392	1.1374	1.1403	+0.0029
	USD/JPY	Spot	112.83	112.43	112.23	112.43	111.89	-0.54
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.655	6.628	6.654	6.739	6.670	-0.069
	Future	1Year(p.a.)	7.235	7.197	7.212	7.272	7.189	-0.083
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.663	3.700	3.711	3.722	3.613	-0.109
	USD	1Year(p.a.)	3.857	3.888	3.886	3.838	3.694	-0.144
株式	Bovespa指数		85,596.69	85,300.06	83,063.56	84,083.50	85,719.88	+1,636.38
CDS	CDS Brazil 5y		211.77	210.80	216.54	212.33	207.00	-5.33
商品	CRB指数		197.250	194.969	194.467	194.790	195.506	+0.716

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは、28日(日)の大統領選挙決選投票を控える中で、週末にかけて3.6台半ばまで上昇した。
- 週初22日(月)のレアルは3.7000で寄り付いた。大統領選挙に関する調査では、今週もボルソナロ候補がアダジ候補をリードするという状況に変化はなく、3.70台近辺を小動きに推移。週央には米中貿易摩擦等を背景としたリスクオフにより米株式市場が軟調に推移するとレアルもつられて下落し、週間安値3.7450を付けた。週末にかけては大口の資金流入と思しきフローによりレアルは買い戻されて上昇。結局週間高値3.6420で週越した。
- 22日(月)発表のブラジル中銀アナリストによる経済成長率予想は、2018年が1.34%で据え置かれ、2019年は2.50%から2.49%まで下方修正された。インフレ率予想は2018年が4.43%から4.44%へ、2019年は4.21%から4.22%へそれぞれ上方修正された。年末の為替レートは2018年が3.81から3.75へレアル高方向に修正され、2019年は3.80で据え置かれた。
- 大統領選挙に関する世論調査では23日(火)発表のIbopeが、ボルソナロ候補の支持率が57%、アダジ候補が43%。また不支持率に関してはボルソナロ候補が40%、アダジ候補が41%という結果となった。その後、25日(木)にDatafolhaが発表した調査結果では、支持率でボルソナロ候補が56%、アダジ候補が44%。不支持率に関してはボルソナロ候補が44%、アダジ候補が52%と、ボルソナロ候補が優位な結果を示すも、既に同氏の当選がほぼ見込まれていることから市場への影響は限定的だった。

3.今週のチャート&ハイライト



ボルソナロ候補の勝利がほぼ見込まれる中、決選投票へ

10月28日(日)に実施される大統領選挙における決選投票は電子投票で行われ、開票は即日実施され28日の21時前後には結果が判明する予定。今週に入っても各世論調査の結果は得票率と不支持率共にボルソナロ候補の優位を示しており、同氏の当選は確実視されている。次期大統領の就任は2019年1月1日付けとなり、新議会は2月4日に召集される。来週以降は、政権メンバーや、新政権による経済政策に関する報道等、同政権運営に市場の注目が集まる。尚、ボルソナロ候補の経済顧問に就任した市場に好感されているパウロ・ゲデス氏は、来週にも新政権の経済チームを発表する見通し。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.55–3.75

来週のレアルは堅調推移を予想する。28日(日)に実施される決選投票に関しては、第一回投票以降ボルソナロ候補の当選はほぼ織り込まれているが、実際に当選したことを受け週明けのレアルは上昇すると思われる。但し、その後は国外市場でのリスクオフ姿勢が払拭できない状況下、レアルの強さが試されよう。2日(金)が祝日であることから週末にかけては流動性が低下することが予想される。

尚、来週は30-31日にCOPOMが開催される。金利先物市場では金利の据え置きがほぼ見込まれており、市場に対する影響は限られよう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	個人ローン・デフォルト率	--	4.9%	5.0%
ブラジル	中央政府財政収支	-24.5b	-23.0b	-19.7b
ブラジル	GDP(年率/前期比)	3.3%	3.5%	4.2%
米	個人消費	3.3%	4.0%	3.8%
米	GDP価格指数	2.1%	1.7%	3.0%
米	コアPCE(前期比)	1.8%	1.6%	2.1%
米	ミシガン大学消費者マインド	99	98.6	99

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/29	FGVインフレGPM(前月比)	Oct	--	0.0152
米	10/29	個人所得	Sep	0.40%	0.30%
米	10/29	個人支出	Sep	0.40%	0.30%
米	10/29	PCEコア(前年比)	Sep	2.00%	2.00%
ブラジル	10/30	全国失業率	Sep	--	12.10%
ブラジル	10/31	SELICレート	Oct 31	--	6.50%
米	10/31	ADP雇用統計	Oct	190k	230k
ブラジル	11/1	鉱工業生産(前月比)	Sep	--	-0.3%
ブラジル	11/1	鉱工業生産(前年比)	Sep	--	2.0%
米	11/1	新規失業保険申請件数	Oct 27	--	215k
米	11/1	失業保険継続受給者数	Oct 20	--	1636k
ブラジル	11/1	貿易収支(月次)	Oct	--	\$4971m
米	11/2	非農業部門雇用者数変化	Oct	190k	134k
米	11/2	失業率	Oct	3.7%	3.7%
米	11/2	平均時給(前年比)	Oct	3.1%	2.8%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。 資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。